

会 議 録		令和6年12月15日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府木津警察署協議会（令和6年度第3回）		
開催日	令和6年12月12日（木曜日）		
時 間	午後1時30分から午後3時までの間（90分）		
場 所	京都府木津警察署 講堂		
出席者	光橋会長、山本副会長、奥委員、岸田委員、浦本委員、矢島委員、有馬委員、岩木委員、宮本委員、服部委員 （欠席 ジョナサン委員） 計10人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、広聴・相談係長 計8人		
諮 問 事 項	災害対策について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 警務課長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 協議 司会 会長</p> <p>諮問事項説明 災害対策について～警備課長</p> <p>【委員】警察、行政、消防、自衛隊等の関係機関の情報共有が大切と考える。 関係機関が、各々の機関での訓練・準備を行うことも必要であるが、各機関が連携してこそ、1+1で2以上の成果が上げられる。 精華町では、ハード面では災害時の防災受援施設を打越台に建設し、応援派遣されてくる関係機関の受皿にする予定である しかし、ハード面に頼るだけではならず、関係機関との合同による災害対応訓練も必要と考える。 また、木津警察署は、浸水等のおそれがある場合に、精華町役場4階に警察署を機能移転する想定をしており、木津警察署と精華町役場ではその対応訓練も実施している。</p> <p>【委員】私は和東町で居住し勤務しているが、和東町は山に囲まれ川もあるという地理的条件であり、和東町では昭和28年に水害に見舞われている。 私自身、これまでの人生で2～3回は和東町と主要国道163号線をつなぐ府道が崩れ、和東町が孤立したような状態を経験している。</p>		

会 議
内 容

地元消防団では、災害発生時のシミュレーションや炊き出し訓練等も行っているが、行政や警察等による公助に頼るだけでなく、住民等による自活、自衛の活動・対策も必要だと考えている。

【委員】災害時には、自助・共助・公助の対応があるが、私の住んでいる自治会では毎年、消防団も参加する防災イベントを行っている。

阪神・淡路大震災では、淡路島では地域の助け合いで大変多くの人命が救われたと聞いており、地域のつながりの強化が大切だと考えている。

【委員】私は木津川市役所を退職後、笠置町役場で勤務したが、カルチャーショックを受けた。

笠置町は高齢者の割合が高いが、役場の職員数は極めて少ない。また、山間部が大半を占め、木津川も流れているため、災害対策の面では心もとないと思っている。

木津警察署では、城山台地区のような人口急増地区と笠置町のような過疎地区の双方への対処が必要であり、災害対策は大変だと思う。

国道163号が不通となった場合には、三重県警との連携対応も必要になるのではないかと考える。

【警察】三重県警との連携対応の必要性は承知しており、本年も三重県警察伊賀警察署を訪問し、各種情報共有を行っている。

【委員】今回の能登半島地震では、火事場泥棒が出たと聞いている。

警察は地震災害発生直後は、人命救助で大変だと思うが、火事場泥棒に対するパトロール活動も行っているのか。

行っているならば、行っていることを効果的に広報するだけでも犯罪発生の抑止力になるのではないかと考える。

【警察】京都府警察は今回の能登半島地震でも、援助部隊を段階毎に目的等を変えて派遣している。

最初は人命救助部隊、その後にパトロール部隊、その後に心のケア等を行う部隊も派遣している。

【委員】私は精華町光台地区で防犯ボランティアを行っているが、災害発生時に普段と同じように、防犯パトロールを行っても良いのか。

【警察】災害発生時に、防犯活動を行っていただけるのは大変ありがたいと、心強く思う。ただし、犯人と遭遇しても自分達で捕まえようと無理せず、警察に通報するなどして皆さんの身を守っていただきたい。

【委員】私の支部では、平日頃のパトロールから、犯人を捕まえるための活動ではないということが意思統一されている。

災害発生時も同じように対応しようと思う。

【委員】パトロールも人数が多ければ、それだけで抑止力になると思う。

【委員】私はケアマネジャーをしているが、職場等では、災害発生当初は、まず自分や家族の身を守るようにとされている。

それらの安全確保などが出来ていれば、利用者の支援にあたるということになっている。

会 議
内 容

【委員】 災害現場では、携帯電話が繋がらないことがあると聞いた。

そのために「災害伝言ダイヤル」というものがあると聞いているので上手く活用したい。

また、災害現場での子供たちへのメンタルケア等も必要だと聞いている。

【警察】 警察では、災害現場が落ち着いてからはメンタルケア等行う部隊を派遣している。

【委員】 大阪北部地震が発生した際も、電話が繋がらない状態が発生したと聞いている。

災害発生時には、LINE等の方が通信しやすいのか。

【警察】 携帯電話は基地局を通じた通信、LINEはインターネット回線を通じた通信である。

警察ではその他、衛星通信の手段を持っている。

災害時には、多様な通信手段を連絡手段として確保しておくことが必要であると考えます。

【委員】 私の住む南山城村では、高齢化や過疎が問題となっており、災害発生時、地域としてどう対処するかは切実な問題だ。

「災害があっても避難所まで行けない。家にいる。」等言っている高齢者も多く、地域にいる動ける者で、そのような高齢者をできるだけ支援するしかないと考えている。

南山城村では、地域のつながりが他の地域より強く、「区」という単位のつながりや、その下部組織として10軒程度の単位の「組」という組織がある。

防災訓練等も村では行われているが、高齢者は参加出来なかったり、訓練の実施について知らない者もあり、それらの方々をいかに参加させるかにも工夫がいる。

そのため、社会福祉協議会による災害対策への支援や、高齢者や一般人が参加しやすい防災イベントの企画等が必要かもしれない。

4 事務連絡

令和6年度第4回京都府木津警察署協議会は、令和7年2月中旬に実施予定である。

以上

第3回京都府木津警察署協議会の開催状況

